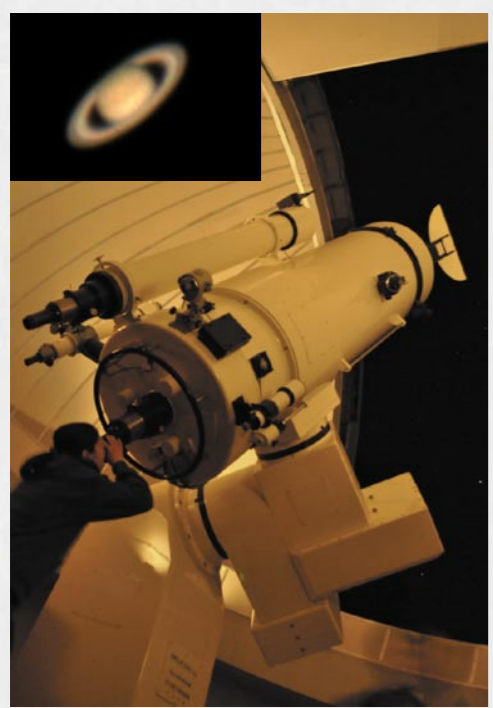


小林  
こばやしびと  
Vol.20



▲ドーム内の巨大望遠鏡では、普段見る星とは違う姿を見ることができる

Infomation

北きりしまコスモドーム

至えびの高原 至小林IC

【所在】〒886-0007  
小林市南西方8577-18  
【電話】0984-27-2468  
※イベントなどは18ページ参照。  
※金環日食観望会は28ページへ。

「本当に美しいものを自分の目で見てもらい、やすらぎと思いを提供したい」

星のふるさと日本一に5度輝いた小林市が誇る北きりしまコスモドームに、県内で2人しかいない「星の案内人（通称・星のソムリエ）」がいる。館長の東修一さんと柚木山成樹さんだ。客の要望に応じてワムリエのように、星の魅力を分かりやすく解説する。

東さん54歳、柚木山さんは48歳。年は違えど、星に魅せられ、学生時代は夜な夜な空を眺めていた二人。しかし、そういった専門的

な分野に進むことはなく就職した。星とは無縁の忙しい毎日だった。

そんな二人に転機が訪れる。平成5年、小林市に北きりしまコスモドームが開設。好きな星に関わる仕事ができるのならば転職を決めた。

二人は、星空教室の開催やイベントなど、少しでも多くの人に星に親しんでもらおうと取り組んできた。星のソムリエを知ったのは3年前。資格取得のために福岡まで通い、宇宙の知識や天体望遠鏡の使い方を学んだ。そして、実際に星空案内を試験官の前で行い、

▶今年度から始まった「星空の夕べ」。楽器の生演奏の後、星のソムリエの解説のもと、野外やドームの天体望遠鏡で星を観測する

◆毎月第2土曜開催。（7～9月は第3土曜）19時～21時



見事合格。受講者の中で一人しか合格しないこともある狭き門を突破し、星のソムリエは誕生した。

資格取得後、二人はソムリエとしての責任感を励みにしている。季節で違う星を勉強し、詳しい数値や神話とともに紹介する。ソムリエは人だ。説明にはそれぞれの個性が溢れる。東さんは、星の美しさの理由を科学の世界から分かりやすく説明する理論派。柚木山さんは、ゆったりとした口調で神話を交えて紹介するロマンチストだ。そんな二人の共通の思いは、感動とともに、いかに心を

持つてもらい満足してもらえるかにある。

柚木山さんは星の魅力を一「同じ星でも、その美しい自然の光は季節や天候、場所で見え方が全く違うこと」だという。東さんは「そんな本物の美しさを体験することでやすらぎを感じ、思い出を作ってもらえれば」と話す。

北きりしまコスモドームに行けば、分かりやすい解説とともに美しい光景を体感でき、より深い感動をきつと味わえる。そこには、果てしなく壮大で美しい星空へと誘う、個性豊かな星の案内人がいるからだ。

本物の美しさを通して  
やすらぎと思いを提供したい

県内で2人だけの「星のソムリエ」

北きりしまコスモドーム 館長 東修一さん  
Higashi Shuiti (細野)  
昭和32年生まれ。54歳。鹿児島県鹿児島市出身。北きりしまコスモドーム開設当初から職員として勤務。現館長。平成24年2月に星のソムリエを取得。好きな星はスピカ。

職員 柚木山成樹さん  
Yukiyama naruki (北西方)  
昭和38年生まれ。48歳。小林市出身。北きりしまコスモドーム開設当初から職員として勤務。平成23年1月に星のソムリエを取得。好きな星はシリウス。